

会議結果のお知らせ

令和7年6月12日掲載

審議会名称	山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会 (令和7年度「やまなし」スイーツブランド価値向上業務委託審査委員会)
日時	令和7年5月28日(水曜日)
場所	書面開催
出席者の氏名	(委員) 金子政一 宇佐美淳 並木麻輝子 眞田健康 相川和茂
傍聴者等の数	—
議題	企画提案の書面審査
会議の結果	令和7年度「やまなし」スイーツブランド価値向上業務に係る企画提案について審査し、各審査委員の審査点を合計した総合点を算出したうえで、上位3社を企画提案二次審査への参加者として選定した。
会議開催を周知しなかった理由	—
会議を非公開とした理由	書面による開催のため
会議資料 公表非公表の別	非公表
会議録 公表非公表の別	非公表
問い合わせ先	所属名、担当名：新価値・地域創造推進局 新事業・地域ブランド課 地域ブランド推進担当 電話番号：055-223-1584(直通) ファックス番号：055-223-1651
備考	

令和7年度「やまなし」スイーツブランド価値向上業務業務委託審査会 企画提案一次書面審査

審査結果表

審査項目	得点					
	A社	B社	C社	D社	E社	F社
基本的事項：業務に対する理解度・基本的な考え方 (配点：30点×審査委員5名)	87	108	111	117	96	120
「やまなしのスイーツ」のブランド価値向上に向けたプロモーション (配点：70点×審査委員5名)	213	244	225	228	213	254
連携プロジェクトにおける「やまなしのスイーツ」のブランド価値向上支援 (配点：40点×審査委員5名)	119	145	120	116	114	133
業務実施計画 (配点：10点×審査委員5名)	32	35	33	29	33	36
評価指標 (KPI) (配点：10点×審査委員5名)	30	33	31	25	26	33
業務実施体制、過去の実績・類似する業務の経験・専門知識 (配点：10点×審査委員5名)	34	35	39	32	34	36
価格 (配点：20点×審査委員5名)	100	100	100	100	100	100
総合点	615	700	659	647	616	712
総合点順位	6	2	3	4	5	1
審査結果		一次審査通過	一次審査通過			一次審査通過

令和7年度「やまなし」スイーツブランド価値向上業務に係る 企画提案選定の手順及び審査の基準（企画提案審査）

I 選定の手順

(1) 審査委員による申請内容の審査（一次審査：書面／二次審査：プレゼンテーションと質疑応答）

(2) 審査結果により、一次審査においては二次審査参加者を、二次審査においては委託候補者を選定

※ ただし、企画提案者が少数の場合には一次審査を省略することがある。

- 「II 審査の基準」に示す内容点各項目の得点（審査委員の評価点に係数を乗じて算出する）と価格点を合計したものを審査点（190点満点）とする。
- 審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、得点の多い順に選定する。
- 総合点と同じ場合は、審査委員の多数決により順位を決定する。ただし、次のいずれかに該当する場合は順位にかかわらず委託候補者とししない。
 - ・ 審査委員の2名以上が評価点2点以下とした審査項目が1つ以上ある場合
 - ・ 審査委員の2名以上が審査点を95点未満とした場合

[評価点の考え方]

非常に優れている／非常に期待できる	10点または9点
優れている／期待できる	8点または7点
委託先として望ましい水準	6点または5点
やや劣る／あまり期待できない	4点または3点
要求水準を明らかに満たしていない	2点または1点

「II 審査の基準」は次ページ

II 審査の基準

審査項目	評価点 (10点満点)	係数	配点 (評価点×係数)
1 内容点			
(1) 基本的事項: 業務に対する理解度・基本的な考え方			
山梨県総合計画、および、やまなし地域プロモーション戦略とその実施方針に関する十分な理解があるか。 「やまなしのスイーツ」のブランド価値向上に向けた有効なビジョンが示されているか。 本業務の趣旨・目的を十分に理解した上で、全体の企画コンセプトが示されているか。 本業務により目指すべき状況を達成するために十分な内容となっているか。	10	3	30
(2) 業務における工夫: 業務に関する企画提案内容			
ア 「やまなしのスイーツ」のブランド価値向上に向けたプロモーション			
(ア) プロモーション業務に対する理解度及び実施方針			
本業務により目指すべき状況の実現に向けた課題設定が明確か。 WEB特集ページほか複数のチャネルによるプロモーション施策を効果的に組み合わせた合理的な内容か。 プロモーション施策について質・量ともに十分な内容か。	10	2	20
(イ) 個別のプロモーション業務の内容			
a 新たなWEB特集ページ及びそのコンテンツ制作			
WEB特集ページのコンセプトや構成は、当該ページを軸にプロモーションを展開していく観点から効果的な内容か。 WEB特集ページにより発信する情報とその件数は業務目的に照らし効果的か。	10	1	10
b 業界専門誌等外部メディアとの連携			
連携先メディアは、上質で高付加価値なものであるというブランド認知を広く獲得するために適切か。 取り扱いテーマ及びその件数は業務目的に照らし効果的な内容か。	10	1	10
c 連携プロジェクトを念頭に置いた本県への来県誘導施策			
本県への来県を誘導し、「やまなしのスイーツ」の消費を促進するために効果的な内容か。 「やまなしのスイーツ」の魅力に対して十分な理解があるか。	10	1	10
d 県が実施する各種のスイーツ振興施策の発信情報の編集			
「やまなしのスイーツ」の価値向上に向けた機運醸成に対する適切な考え方を有しているか。	10	1	10
e プロモーション施策の周知			
本業務で行うプロモーション施策へのリーチを効果的に増加させる取り組みか。 費用対効果の観点から十分な内容となっているか。	10	1	10
イ 連携プロジェクトにおける「やまなしのスイーツ」のブランド価値向上支援			
(ア) 連携プロジェクトの支援に対する理解度及び実施方針			
本業務により目指すべき状況の実現に向けた課題設定が明確か。 連携プロジェクトの円滑かつ効果的な実行に向けて業務を効果的に組み合わせた合理的な内容か。 連携事業者が独自に行う取り組みとの調和を図り、全体として効果的な取り組みとすることができる内容か。	10	2	20
(イ) 個別の支援業務の内容			
a 売り場における販売促進催事の実行			
「やまなしのスイーツ」の高級スイーツ市場での地位確立に向けたプロモーションとして効果的な内容か。 連携事業者が独自に行う取り組みと調和を図る観点に十分な理解があるか。	10	1	10
b 連携プロジェクトの効果的進捗に向けた支援			
取り組みの円滑な進捗を支援するために適切な考え方を有しているか。	10	1	10
ウ 業務実施計画			
・ 業務の実施スケジュールに実現性があるか ・ 実施手順が効果的であるか	10	1	10
エ 評価指標 (KPI)			
・ 評価項目や目標値は適切な考え方のもとに設定されており、合理的か。	10	1	10
オ 業務実施体制、過去の実績・類似する業務の経験・専門知識			
業務を円滑かつ効果的に実行するための体制が確保されているか。 コンプライアンスや情報管理を適確に行う体制を備えているか。 専門的・技術的な知見を有し、ノウハウを活かすことが期待できるか。	10	1	10
2 価格点			
・ 配点×応募者中の最低価格／提案者の価格 ※ 小数点以下第1位で四捨五入			20
審査点			190